

## 令和7年度 胎内市観光活性化推進委員会 議事要約

### 1 日時

令和8年1月26日（月）午後3時00分～

### 2 会場

胎内市役所 3階 301会議室

### 3 出席委員

須貝実会長、平川啓一副会長、橘信孝委員、須貝勝男委員、須貝建雄委員、佐藤稔委員、久世俊介委員、竹林莉菜委員、布川拓男委員、神田圭奈観光振興推進サポーター

### 4 会議次第

- (1) 第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況について
- (2) その他

### 5 会議経過

別紙のとおり

## 会議経過

### 1 開会

あいさつ（須貝会長）

### 2 議題（1）

#### ○須貝会長

それでは要綱に基づきまして、しばらくの間、私の方で進めさせていただきます。議題に入る前に、委員でありました森麻衣子さんが解嘱され、新たに地域おこし協力隊の竹林莉菜さんを委嘱させていただきますのでお知らせします。委嘱期間は前任者の残任期間となりますので、令和8年7月26日までと短い期間ですが、よろしくお願いいたします。

それでは、議題の（1）第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況につきまして事務局から説明をお願いいたします。

#### ○事務局渡部主事

（説明1）

#### ○須貝会長

ただいま事務局から、第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況につきまして説明がございました。ただいまの説明に対しまして、委員の皆様から質問はございませんでしょうか。ないようですので、次に移りたいと思います。続きまして、アクションプランの達成状況と見直し案につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

#### ○事務局渡部主事

（説明2）

#### ○須貝会長

ただいま事務局から重点戦略の1、胎内の魅力を生かしたプログラムを創出するというので、プロジェクト1から3まで説明がございました。皆様からご質問、ご意見はございませんか。

#### ○布川委員

プロジェクト1の(2)について、去年NK p j というものがありましたよね。若い経営者たちで構成されていて、久世さんも参加されている。あれはあくまでも企画提案のレベルになっていると思うのですが、具体的にやってみたいなことは聞かれていますか。

#### ○事務局増子課長

はい。このNK p j というものでございますが、アクティビティの関係ですとか、観光に関する情報発信ですとか、スキー場だとグリーンシーズンの活用とかご提案いただきました。胎内スキー場を含め、リゾート全体を見て、何が一番いいのかというところを検討しているような段階でございます。具体的に言うとジップライン。リフトのところから通常であれば、さあっと下まで降りてくるのですが、例えば、ロイヤルの辺りから胎内川を渡るのも、非常に魅力があります。ただ、県との協議とかもございますので、検討している状況でございます。現在のところ、プログラムとして造成されたものはないというところでは。

#### ○布川委員

計画の段階というか、検討の段階というレベルですか。

○事務局増子課長

そうです。

○布川委員

わかりました。あとプログラムに関連するかわからないのですが、去年、巨ブナのネーミングを募集しましたよね。あと、私は直接絡んでないですけど、石切り場のツアーとか。この辺の情報が伝わってこないのですが、触りとか聞かせていただければ。

○事務局渡部主事

はい。まず、ししのくらの森の巨樹のネーミングの募集の結果といたしまして、応募総数 636 件ございました。現在、有識者による 2 次審査中でございます。3 月中に選考委員会を行いまして、そちらで決定して、市報の 4 月 1 日号で公表予定でございます。続いて、石切山のツアーについてですが、今年度、羽黒集落から承認をいただきまして、コースの刈払いですとか、一部ロープの設置を行いました。秋にツアーの実施予定だったのですが、クマの出没の関係もありまして、中止となってしまいました。令和 8 年度は、県の補助金を活用いたしまして、ルートの看板の設置とか、パンフレットを製作いたしまして、その後、一般開放、ツアーの実施を予定しております。

○布川委員

大変よくわかりました。ありがとうございます。

○事務局大矢主任

ネーミングは 636 件で、もう 97% くらいは県外の方で、北海道から沖縄まで見つけていただいて、応募していただきました。

○布川委員

それだけでも PR 効果ありますよね。

○須貝会長

他にございますか。

○守屋委員

じゃあちょっとご質問なのですが、団体ツアー的な部分の想定について、海外の話含めいくつかあったと思いますが、感触として増やしていけそうなのか。どういうルートだとか、県を通じてとか、そのあたりの取り組み方について、個人客もあるとは思いますが、考える必要があるのかと思います。受ける側のキャパシティの問題とか、セールスする体制とか、どのような感じなのか教えていただければと思います。

○事務局増子課長

はい。私の方からインバウンドの関係についてですが、以前、台湾の方から星まつりに来たお客さんがいたのですが、現在の状況としては、台湾からの航空便というのは、新潟空港に夕方着でございまして、新潟市内に宿泊される。その翌日に、山形、仙台方面へ行っているというところがございます。それが、今のところ好調に推移しているところでございます。なかなか新たに、新潟県内の周遊のプランを造成するのが、困難なところがございます。こちらの方は、県、また広域の方と連携はしているのですが、苦戦しているという状況でございます。

もう一つ、観光のゴルフツアーの関係ですが、ロイヤルに宿泊していただいて、市内のゴルフ場 4 か所を利用するツアーを、旅行会社を通じて PR してもらっています。ですが、月岡宿泊の新発田市内の

ゴルフツアーに新発田市が補助金を出している関係もあり、こちらの方も伸び悩んでいるというような状況でございます。

ただ、暗い話ばかりではなくて、明るい話題としては、スキー場の関係ですが、今、中国の上海でスキーブームということでございまして、直接新潟空港に来る便がございます。そちらの方で、湯沢・妙高へ行くと、距離の問題があると。そして高速料金の問題もありますので、近くてすぐに滑れる胎内スキー場を PR してもらっています。この件につきましては、学校教育の関係で協議しているのですが、低学年の小学生・中学生をターゲットにしたスキー教室に興味を示す団体があるということでございます。ただ、今は中国と日本の関係がございまして、向こうの方が来るという話もあったのですが、ちょっと中断している状況でございまして、胎内スキー場のスキー教室の状況を DVD で撮って、送るというような形で進めているというところでございます。

○佐藤委員

今、内容の中であつたのですが、韓国のゴルフのツアーの件で、2人しか来ていないのですか。

○事務局増子課長

そうですね。令和6年は。

○佐藤委員

私、当初からお話をいただいていた、たしか10年前くらいから、韓国の方とはツアーのやり取りがあつて、多分旅行会社も入っていると思うのですが。コロナ入るまでも0組で、コロナ後もまだ行っているのかと思つて相談させていただいたこともあつたのですが、これだけ10何年やつていて、ツアー組んで2人だけというのはどうなのかと。それほど韓国にゴルフのお客さんに需要があるのか。それこそ今言われたみたいに、新発田もそれほど来てなかつたと思う。来てもらえる窓口として残しておくのはいいのですが、10年やつていて2人だけつてというのはどうなのかと疑問に思つたので。

○事務局増子課長

昨年は2人だけですが、その前はもう少し需要はありました。今までの取組の中で、せっかくSJツアーと関係が築かれたというところがありますので、もうしばらくはそれを活用させていただいて様子を見ると。それでも、厳しい状況であれば、方向転換というのでも考えていかなければいけないと思つています。

○佐藤委員

宿泊施設はどういうふうになっていますか。当初は、ロイヤルさんとグランドホテルさんと、多分うちだけだつたと思うのですが。最初の一発目の時に、いろいろ情報はあつたのですが、その後情報はないので、もう関係なく来ていただいたところに泊まっていたか、ロイヤルさん一本なのか。

○事務局増子課長

今のツアーはロイヤル一本ですね。そして、市内のゴルフ場を自由に選んでいただくというような形でございます。

○佐藤委員

わかりました。

○須貝会長

よろしいでしょうか。では、続きの説明をお願いします。

○事務局渡部主事

(説明3)

○須貝会長

ただいま事務局からプロジェクトの4から6について説明がございました。皆様からご質問、ご意見ございますか。

○久世委員

26ページの『胎内型ツーリズム推進事業』について、農泊の関係ですか。

○事務局齋藤参事

はい。そうです。

○久世委員

農泊って需要はあるのですか。今、受け入れる農家さんがすごく少なくなっているというのは聞いている。需要があるのであればすごくもったいないと思いましたけど。

○事務局齋藤参事

需要はあまりありません。おっしゃるとおり受け入れ農家さんが少なくなってきているので、宣伝とかも難しい状況ではあります。

○久世委員

市のアクションプランの目標で、『旅人から村人へ』とあるので、農泊はすごくわかりやすいコンテンツだなと。

○事務局増子課長

可能性としてはいっぱいあると思うので、ロイヤルや農家をミックスした形であれば、いろんな体験も可能かと思えますので、農家の環境とかをしっかりと構築してからですね。これからのプランの造成としては面白いのかなと思います。ヒントになるかはわかりませんが、新発田市が防災と絡めた宿泊のプランをやっています。一泊は農家、一泊は月岡温泉でというものがありますので、新発田の広域の連携だとか視野に入れていけば面白いのかなというふうに思います。

○須貝会長

他にございますか。はいどうぞ。

○須貝(建)委員

去年の米粉フェスタからの『ゴールドヤキソバ』のプロジェクト、お店屋さんとかその辺の感触としてはどのような感じでしょうか。

○事務局大矢主任

はい。米粉フェスタでお披露目をしていただいて、12月末から2月末までキャンペーンを実施中なのですが、14店舗参加していただいております。販売状況とかは細かく調査はしていませんが、ヤキソバに旗を立てるというのが1つ特徴的になっていて、その旗をお店にお配りして、その旗がなくなったらお声がけいただくようお願いしているのですが、200配って全部なくなったという飲食店が2、3店ございますので、それなりには出ているのかなというふうに思っています。同時にキャンペーンの応募条件として、Instagramに投稿するという条件があるのですが、そちらはざっと20件くらい投稿があるような状況で、もっと増えてほしいなどは思いますが、広告もかけておりますので、そこそこの反響はあるのかなという感触はあります。

○須貝会長

他にございますか。はいどうぞ。

○布川委員

資料5ですか。これはいつ誰のために作った資料ですか。

○事務局渡部主事

こちらが、先ほどの資料3のところ、ソフト面・ハード面の話あったと思うのですが、その内容を詳しくまとめたものとなり、この委員会のためにお作りした資料になります。この資料5の(1)のハード面の付随資料として資料6、(2)のソフト面の付随資料として資料7をつけさせていただいております。

○布川委員

面倒くさいことと言って申し訳ないですけども、もう7年度がそろそろ終わろうとしているのに、こういうふうにやりますと言われても、ああそうですかと言うしかないのですが、言ってみれば後付けの。

○事務局増子課長

7年度の方針としてこうでしたという確認をしていただくというところ。

○布川委員

わかりました。この中の項目に関連して、『乙観光トイレ』、これはどういう位置づけの施設でしょうか。

○事務局齋藤参事

はい、乙宝寺の入って右側のトイレ。

○布川委員

あれは、市関連のトイレなのですか。

○事務局増子課長

はい。そうです。

○布川委員

そうなのですね。乙宝寺のトイレかと。その流れでもう一つ質問したいのですが、手前に池があって蓮で有名ということになっていると思いますが、最近、葦が繁殖しちゃって蓮が負けている。我々が行って、葦を退治したらどうかなと思うのですが、そういうことはできるのですか。

○事務局齋藤参事

池は、乙宝寺さんの管理になります。

○布川委員

では、葦刈りに来たとする、勝手なことをするなということになるわけですね。

○久世委員

だめとは言わないと思いますけど。

○布川委員

そういう行動がとれないかいつも思うのですが、通してくれませんか。

○事務局増子課長

こちらの方で、乙宝寺さんの方にお聞きすることは可能です。

○布川委員

ぜひやりましょう。

○事務局齋藤参事

はい、ありがとうございます。

○久世委員

土砂も溜まっていると。

○事務局増子課長

そうですね。そういったところも合わせて。

○布川委員

もう一点いいですか。プール改修してグランピング施設になっていると思いますが、あれの状況について。

○事務局渡部主事

令和7年度の計画としては、宿泊者数300人、売上960万円を見込んだものでしたが、現時点の実績では、宿泊者数220人、売上は550万円とのことでした。

○布川委員

ということは、目標をとらえているというようなイメージでしょうか。

○事務局増子課長

思ったよりも、冬季間の入込が苦戦しているというところがございます、おおむね4月から11月までは好調に推移していました。当初のプランに加え、日帰りプランですとか、女子の特別のプランですとか、ちょっとスイーツを豪華にしたり、お客様のニーズに応じたプランを造成しているというところでは。

○布川委員

もう一点いいですか。去年聞きましたが、みゆき庵からフラワーパークのつり橋を補修するかしないかという話でしたが。

○事務局増子課長

設計は今年度、工事については8年度にやります。それが単年度で終わるか複数年度で終わるかというのは、また協議が必要だと思っておりますが、それに合わせて、そば処の駐車場について傷んでいるので、その整備も行う計画でございます。

○布川委員

聞こえては来ないけれども、着々と進んでいると。

○事務局齋藤参事

来年になれば、きちんとお知らせできると思います。

○須貝会長

他にございますか。ないようですので、また説明をお願いします。

○事務局渡部主事

(説明4)

○須貝会長

今ほど説明ありましたが、ご質問等ございますか。

○佐藤委員

私知らなかっただけかもしれないのですが、駅のレンタサイクルは昨年度からやっていないのですか。

○事務局渡部主事

はい、6年度から。

○佐藤委員

たまにお客さんに聞かれることもあったので、ありがとうございます。

○須貝(勝)委員

需要とかの問題ではなく、指定管理者の方で、お客さんの要望が難しく受けられないという話。

○須貝(建)委員

道の駅とかロイヤルではそういった変な要望はないのですか。

○須貝(勝)委員

道の駅は基本車で来る人。客層が違う。

○橘委員

ロイヤルも問題ない。

○布川委員

くるっと胎内って駅発ですよ。駅降りて、くるっと胎内があるという目印はあるのでしょうか。

○事務局齋藤参事

一応西口に看板が出ています。

○布川委員

西口に行かないとわからないのでは乗らないよね。

○事務局増子課長

周知の方法としては市報。

○布川委員

二次交通としては、その人たちをターゲットにしないと。

○久世委員

駅の構内に貼り出しとかもない。

○事務局渡部主事

ポスター等の製作はないと思います。

○佐藤委員

あれはそもそも予約制ですか。

○事務局渡部主事

くるっと胎内は予約制ではございません。一応観光で毎月作成しているトコトコ便には、シーズンになると掲載しています。

○事務局増子課長

もう少し強化するようにさせていただきます。

○布川委員

町歩き看板作ってくれませんか。南都屋の若女将に言われたのだけど、駅を降りて、地図を見ない

で、看板だけで歩けるようなツールが欲しいねって言ったわけ。

○須貝（勝）委員

文化財の保存活用地域計画かなんかで出てると思う。

○布川委員

出ててもやらないんだわ。

○須貝（勝）委員

去年承認されたからやるんじゃないですか。

○事務局増子課長

はい。これまた関係するところと協議してですね。

○須貝委員

他によろしいでしょうか。なければ事務局から続きをお願いします。

○事務局渡部主事

（説明5）

○須貝会長

説明いただきましたが、委員の皆さんからなにかございますか。

○布川委員

19ページのボランティアガイド、これどうしましょうかね。

○事務局増子課長

これ要望のあるものをしっかりと把握して、まずは話し合いのところから始めさせていただいて、育成期間も必要になってくると思いますので、すぐにはできないと思いますが、観光協会と連携しながら、進めていければというような思いはあります。

○布川委員

これ駆け出しのころに、研修みたいのをやっていたんですよね。今はそれすらもないから。いつでも窓口空いてますよって言っても具体的に動かないとしようがないと思うのですが。これは観光協会で受け付けているのですよね。

○須貝（勝）委員

そうです。

○布川委員

活性化という意味では、私個人のことですが、「路地連胎内」で年に3、4回やって、20人くらい集まってくれるんですよ。その辺もカウントしたらどうでしょうか。

○事務局増子課長

それは含めるような方向で検討させていただきます。

○布川委員

研修会やりましょうよ。小中高生に一生懸命学習をいただいているという流れで、その人たちが育ってくればいいんですけどね。さっき言った研修は教育の延長線上でもあるとは思うので。

○事務局増子課長

まずは、1回話し合いをさせていただいてですね。それから進めていきたいというふうに思います。

○須貝会長

他にございますか。では、続きをお願いします。

○事務局渡部主事

(説明6)

○須貝会長

説明いただきましたが、ご質疑等ございますか。

○布川委員

資料の8以降は、去年も同じ議論したのだけど、こういう計画でやりますっていう資料だけ見て、これに基づいてやった結果というのは、過去1回も示されていないのですが。前年度でもいいから教えていただけると嬉しいのですけれども。あとで教えてください。

○事務局渡部主事

大変失礼いたしました。

○須貝会長

他にございますか。ないようですので、事務局からの説明は一通り終わりましたけれども、これまで説明した中で、また他の事項でも構いませんが、皆様からご意見があればお伺いいたします。

○布川委員

今日のこの会議を1月26日という節目でも何でもない日に設定した理由は何かあるのですか。もっと言うと、年度末であればある程度数値はもう固まってきているので、本来であればそういう季節にやるべきだと思うのだけど。

○事務局増子課長

当初は新年度予算に反映されるというところであれば、12月頃に開催させていただいて、皆様からいろんな意見を頂戴して、新年度予算案に反映させられればと思っておりました。年度末ですと、確かに数字はまとまっているのですが、次年度に反映することができないというところで、皆様の意見を生かすためにも、次年度は12月くらいを目途に開催させていただければと思っております。今回はそんな思いもありましたが、遅れてしまったというところでございます。

○布川委員

達成がどうなったかという会議かと思っているのですが、課長が言われるのは次年度に反映させたい。じゃあ2回やればいいじゃないですか。

○守屋委員

いつだったか、数字が固まったらということで、秋くらいに1回やって、次年度に反映させるならもう1回というような話がありまして、7年度の数字の見通しまで持っているのであればいいですが、そこまでないならご指摘のとおりかなと、私も同感ですね。

○事務局増子課長

よく検討させていただきます。

○布川委員

もう1個ついでにいいですか。今日、竹林さんが新委員ということでご参加されていますが、7月までなのですか。

○事務局増子課長

任期が皆様と同じく、7月までということでございます。その後のメンバーはまた新たに。

○布川委員

抜けた女性委員の代わりも、ぜひ次年度に増やしてもらいたい。

○事務局増子課長

時間もございますので、増やせるようにさせていただきます。

○須貝会長

よろしいでしょうか。では、その他ということ、皆様の方からでも、事務局の方からでも何かございますか。では、ここで用意してある議題は全て終了いたしました。事務局の方にお返しいたします。

○事務局増子課長

長時間ありがとうございました。それでは、最後に平川副会長より本日の総括をお願いいたします。

○平川副会長

本日は長時間ありがとうございました。布川さんがおっしゃっていて、前回も同じことがあったなということが何個かございますので、そういったことのないように、せっかく貴重なご意見いただいているので、何かしらの回答ができるようお願いいたします。あと、任期が7月26日までということで、半年くらいになりましたけども、引き続き、胎内市の観光のために貴重なご意見頂戴したいと思っておりますので、今後ともよろしくようお願いいたします。本日はお疲れ様でございました。

○事務局増子課長

ありがとうございました。本日いただいた意見を踏まえまして、今後の施策に必ず反映して参りたいと思います。本日は長時間にわたりましてありがとうございました。以上を持ちまして、令和7年度胎内市観光活性化推進委員会を終了いたします。ありがとうございました。